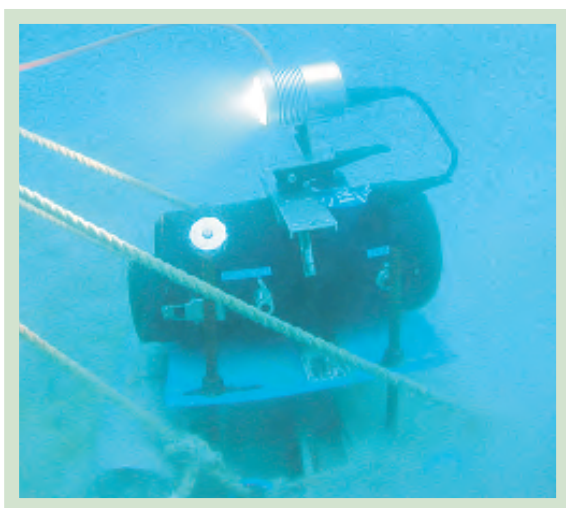


水中ビデオによる 自動曳航撮影システム

有線方式の撮影であるため船上で撮影を確認・記録でき、深場の砂泥域の海底を広範囲にわたり、安全性に優れかつ低コストで撮影できます。

特長



深場での海底調査 (水深30m)

広範囲な
海底撮影に!



熱帯性海草藻場調査 (水深5m)



1 深場を広範囲に撮影可能

- 水深60mまでの砂泥質海底を撮影
- 船での曳航による、測線連続撮影
- 計測機器の搭載により、底層の環境データを取得

2 有線方式の撮影システム

- 船上で撮影を確認・記録
- GPSの併用により、撮影位置を再現
- 撮影記録から底生生物の定量的な生息分布を解析

3 安全性に優れた低コストでの撮影

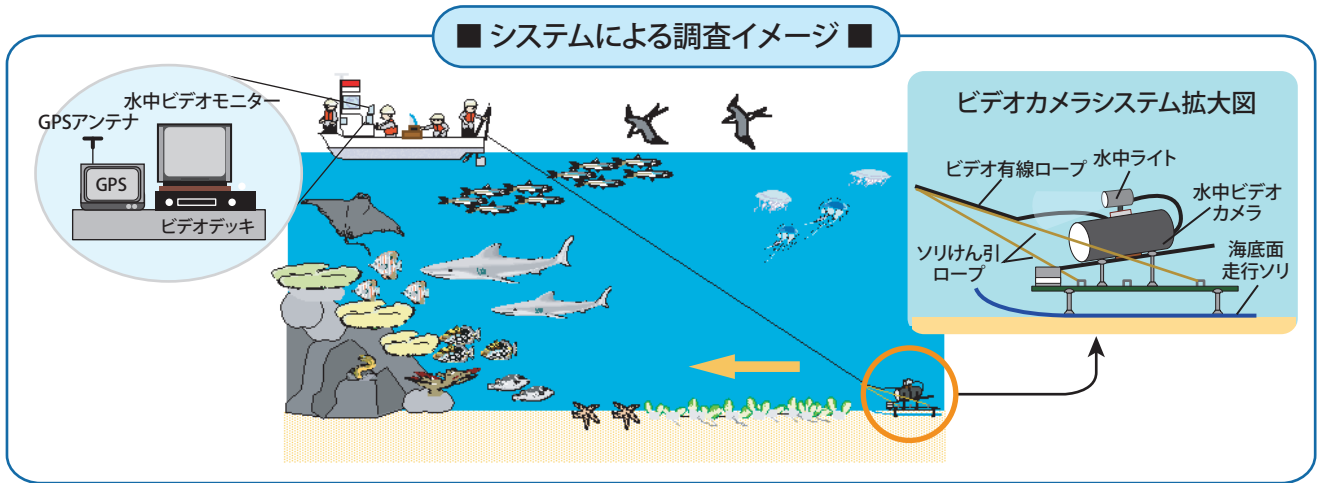
- ダイバーの減圧症が回避でき、安全に撮影
- 長時間・低コスト・効率的な撮影



自動曳航撮影システムのイメージ

水中ビデオ自動曳航撮影システムの概要

ソリに搭載した水中ビデオカメラを海底面まで下ろし、GPSで位置出しをしながら約1ノットの速度で曳航して撮影します。船上では、撮影状況をビデオモニターで確認し、デッキで連続記録します。



用途及び今後の活用

1 深場の砂泥質での広範囲な撮影

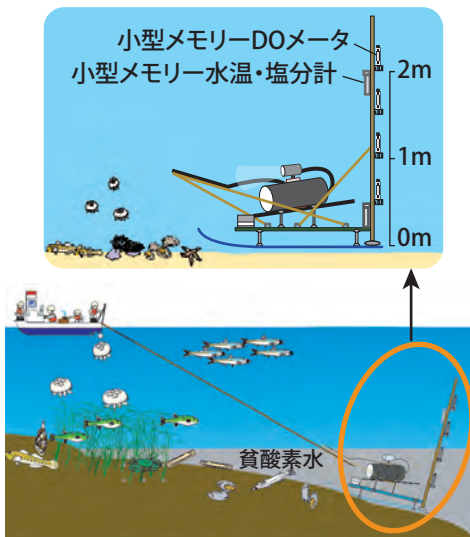
- ・ 深場に生育する海草類分布調査
- ・ 海底に堆積した沈木、ごみの分布調査
- ・ 内湾での底生動植物の定量確認調査

2 今後の用途・活用

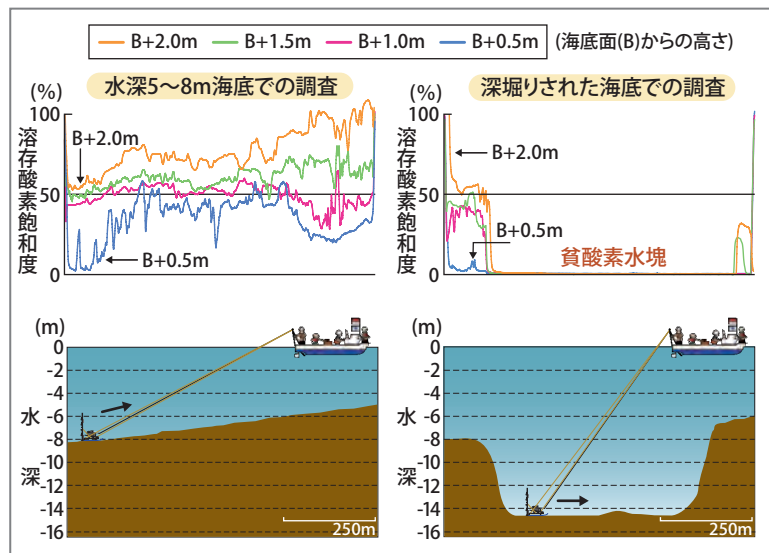
- ・ 内湾での貧酸素の発生機構と分布範囲調査
- ・ 観測用計器による水質の広範囲な分布調査
- ・ 航路浚渫、覆砂事業での海底状況確認調査
- ・ 危険水域(航路・サメ出没)での潜水調査

■ 貧酸素発生機構調査イメージ ■

調査イメージ



調査結果例



お問い合わせ先

環境調査事業本部

TEL : 045-593-7602 E-mail : idea-quay@ideacon.jp

